

広報うちこ

UCHIKO

8

August 2025

vol.334

あなたとまちをつなぐ
ふるさと情報誌

特集

想像して、考えて、―戦後80年―
今、私たちがすべきこと



ぼくの夢 わたしの夢

下野 梨瀬^{りせ}さん 五十崎小学校6年(上村)

いつか、災害が起こったとき 誰かを支えられる大人になりたい

走るよりも泳ぐ方が好きです。町内水泳大会に向けた目標は、25^{メートル}で20秒を切ること。練習を重ね、息継ぎの回数を減らすのを意識して、いい記録が出せるように頑張りました。

大人になったら、災害ボランティア活動に参加したいです。5年生の時、授業で東日本大震災の映像を見ました。自衛隊や消防団の人が一生懸命、土砂を取り除いていたのを覚えています。能登半島地震の後には、ボランティアの人たちが海岸の掃除をしている様子をテレビで見ました。被災した地域を元の姿に戻す大変さを知り、「自分も何かお手伝いをしたい」と考えるようになりました。災害は、これからも必ず起こります。その時に助けてもらうのではなく、助けることができる人でいたいです。水泳や、スポ少のソフトボールで鍛えた体力も生かせるかもしれません。困っている誰かの役に立てる人になるのが、今の夢です。



CONTENTS 目次

UCHIKO vol.334

広報うちこ 2025年8月号

- 2 ぼくの夢 わたしの夢／目次
- 3 特集 想像して、考えて、戦後80年 今、私たちがすべきこと
- 10 まちのニュース アートベンチャーエヒメ／スバル音楽祭／止談風月の夜 他
- 12 Close-Up 頂へ挑む夏
- 14 うちこ往来 小田深山MTBフェスティバル／内子夏祭り 他
- 16 みんなのひろば
リレーエッセイ／はじめてのバースデー／人☆キラリ／HELLO!!! 他
- 20 図書館へ行こう
- 21 ゆうていあ Vol.292
- 22 町からのお知らせ 内子座保存修理工事見学会／花火大会／元氣ごはん塾 他
- 27 暮らしの情報 みどり苑・神南荘職員募集／子どもの人権相談強化月間 他
- 30 健康カレンダー／お元気ですか／人のうごき／相談／当番医
- 32 住人十色

COVER

—— 表紙の写真 ——



◎龍王城址にある慰霊塔の前から星空を望んだ一枚です。今年は太平洋戦争の終結から80年を迎える節目の年。戦争を知らない世代が多くなりましたが、どんなに月日が流れても、夜空に輝く星は変わらず今を生きる私たちを見守ってくれているようです。8月号の特集では、平和の尊さについて改めて考えます。ぜひご覧ください。

想像して、考えて、——戦後80年—— 今、私たちがすべきこと

平和の尊さや戦争を二度と起こしては
いけない、ということとは多くの人が理解し
ていることでしょう。でも、今も世界のど
こかで戦争は起こっています。

戦後80年。戦争や当時の暮らしを経験
した人はどんどん減っている今、私たちに
できることはどんなことでしょうか。貴重
な証言と戦争遺品から、戦争とは、平和と
は何か、想像して、考えてください。



空襲に備え、みんなが防空頭巾を肌身離さず持っていた

竹槍



もんぺ姿で竹槍訓練をする



くわを持ち、農業実習を受ける女性たち

語り継がれる記憶①

子どもや孫たちには私が経験した思いは絶対にしてほしくない



竹内 ハマ子さん (88)
=上川中央=

戦争が始まったのは10歳のときでした。終戦が18歳だったので8年もの長い間、戦争の中で暮らしました。中でも鮮明に覚えているのは、内子に爆弾が落とされた日のことです。

あるとき、昼間に空襲警報が鳴り響き、ふと空を見上げるとアメリカの飛行機が飛んできていました。B29を中心にして隊列を組み、「グリーングリーン」と不気味な音を立ててやってきます。家には病気で寝たきりの姉がいました。私は急いで姉を背負い、防空頭巾をかぶり、裏山まで走りました。木の隙間から、飛行機が過ぎ去るのをじっと見ていると、一機が急降下。どうしたのだろうと思った瞬間、「ドーン」とすさまじい爆音が響きました。知清河原に爆弾が落ち、大きな穴が開いたと、後から聞きました。敵国の力と戦争の怖さを思い知った出来事で、どうか早く終わってほしいと願わずにはいられませんでした。

しかし、戦争は大きくなる一方

国を守らなければの一心で竹やり訓練 青春時代は暗い戦争の記憶ばかり

でした。小学校では空襲警報がたびたび鳴り、落ち着いて勉強することもできません。高学年になると勤労奉仕が始まり、出征した兵隊さんの家を訪ねては、麦刈りや炭焼きなどの手伝いをしました。女学校を卒業するころにはアメリカ兵の上陸に備え「ヤー、ヤー」と叫びながら竹槍の訓練を受けていました。こんなもので勝てるはずがないのに、当時は「国を守らなければ」と一生懸命でした。

終戦の日はラジオの前で、天皇陛下のお言葉に耳を澄ませました。長く続いた戦争がやっと終わったという安堵と、負けた悲しみが入り混じり、張り詰めていた糸がぽつんと切れたような気持ちでした。

私の青春時代は暗い戦争の記憶ばかりです。あれから80年、こんなにも豊かな時代が来るなんて、当時の私には想像もできませんでした。大事にしてくれる家族や周りの人たちに感謝し、残りの人生を穏やかに生きていきたいです。

グラマンに震えながら病院の母へ届けた梅干し心から笑うことはほとんどありませんでした

「千人針」は弾除けのお守りで、出兵する兵隊さんが腹などに巻いて戦っていました。白い布に千人が一針ずつ赤い玉結びを縫い、地域の人みんなで協力して作っていました。私も小学生だった頃、何本も縫った記憶があります。幼いながらも「無事に帰って来てください」と、一針一針に心を込めました。

戦争が激しくなってきた昭和20年、私は8歳でした。この上川の空にもアメリカの飛行機がひっきりなしに飛んできました。日が陰るくらい数十機が並んで迫ってくるのです。山際まで低空飛行するので、撃たれるのではと、恐ろしくてたまりませんでした。暮らしもどんどん苦しくなり、米は国に供出しなければならず、麦やサツマイモが主食でした。服や下着は着物をほどこいて作り、ぜいたくは一切できませんでした。

一番つらかったのは、終戦する2カ月前に母が病気で亡くなったことです。戦時中の暮らしがたたったのかもしれない。

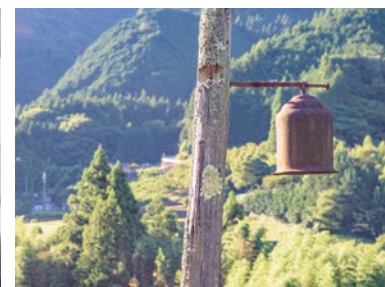
入院しても薬もなく、治療も何もできないままだったのではないかと思っています。まだ40歳の若さでした。最後に会えたのは亡くなる3カ月前。「梅干しが食べたい」という母のために、病院まで8キロの道のりをひたすらに歩いて届けた日でした。空襲警報が鳴り、上空を飛ぶグラマンに震えながらも、やっとの思いで病室に着くと、「よう来てくれた」と母が泣きながら抱きしめてくれたのを覚えてます。そして、私の髪を優しく櫛でといてくれました。

戦時中はとにかく寂しかったです。大好きな母を失い、家族全員が悲しみに暮れていました。生活するのにみんなが必死で、かまっても言えず、甘えたくても甘えられない。つらく寂しい子ども時代でした。心から笑うことなど、ほとんどなかったと思います。戦争は多くの命と人の幸せを奪います。子どもや孫たちには私が経験した思いは、絶対にしてほしくないです。



アメリカのグラマン戦闘機

Grumman F6F-5N "Hellcat" night fighters 80-G-468301
Naval History and Heritage Command, Washington, DC



空襲を知らせる半鐘。今も上川地区に残る

ハマ子さんの義兄が持っていた千人針。内子町が所蔵



清水 ひとるさん (98)
=上立山=

語り継がれる記憶②

家族や周りの人達に感謝し、残りの人生を穏やかに生きたい



空襲直後の松山。建物が焼失し焼け野原に
写真:愛媛県歴史文化博物館所蔵(故山内一郎氏撮影)

語り継がれる記憶④ 深夜1時の空襲警報 今も目に焼き付く 火の海の市街地

18歳のとき松山空襲を体験しました。昭和20年7月26日、愛媛青年師範学校に通っていた私は、寮で就寝していました。

深夜1時ごろ突然の空襲警報で目が覚め、逃げる準備をしていたら「ザーツ」とものすごい音で焼夷弾が降ってきた。



重岡 愛子さん (98)
=内子13=

ました。学校が燃えては大変と無我夢中で焼夷弾を3つほど消したのを覚えています。その後、慌てて近くの防空壕へ友人と逃げ込みました。震えながら戦闘機が去るのを待ち、外に出てみると、松山の市街地は火の海に……。一夜にして焼け野原と化し、いくつもの命が奪われました。幸い学校も寮も焼けずに残り、友人や先生たちは無事でしたが、あの恐ろしい光景は今も目に焼き付いています。

戦争の記憶や光景は忘れることはできません。世界では今も戦争が起こっている国があります。過去にあれほどの痛ましい経験をしたのに、なぜなくならないのか。戦争は尊い命の奪い合い。もう二度と起こらないことを切に願います。

「国のために死ぬことが名誉」と信じ 振り返って思うのは「教育の恐ろしさ」

「国のために戦おう」と14歳で海軍に志願しました。鹿児島県の鹿屋海軍航空基地に配属され、上官からの命令を各部署へ伝える役割をしていました。基地は沖縄に近く、米軍機が毎日のように襲来します。「バリバリバリーツ」と撃ち込まれた機銃掃射に、多くの戦友が犠牲となりました。私も機関銃の弾が体のすぐ横をかすめ、命からがら防空壕に飛び込んだこともあり

ます。鹿屋には特攻隊が出撃する飛行場がありました。多くの若い兵士たちが片道分の燃料だけを戦闘機に積み、爆弾とともに飛び立って行く姿を何度も見送りました。特攻隊員の気持ちを考えると、万感の思いがこみ上げてきて、手を合わせずにはいられませんでした。

当時を振り返って思うのは「教育の恐ろしさ」です。あの頃の私は「国のために死ぬことが名誉」だと信じて疑わず、恐怖すら感じていませんでした。仲間が撃たれたときも「治ってほ

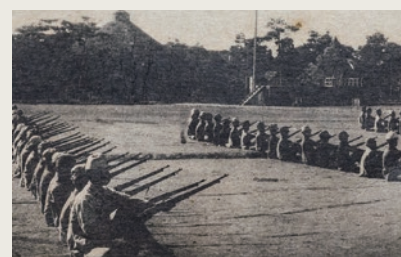
しい」とは思っても、「戦争はいけない」「惨めなことだ」という気持ちは、はなからありませんでした。とても悲しいことです。私たちが朝夕に口ずさんでいた軍歌には、「死んで帰れ」という歌詞があり、それを励ました。今では信じられないことですが、それが当たり前の時代だったのです。

終戦後、立川の土を踏みしめたときは、思わず涙があふれました。母は生きて帰った私を見て、地面に座り込んで泣き崩れていました。14歳の子どもを戦地に送り出した親の気持ちを想像すると、胸が痛みます。

人は決して一人では生きていきません。これからの世の中をつくる若い人たちには、人とのつながりを大切にし、平和の尊さを心に刻んで生きてほしいです。子どもでさえ国のために命をかけた時代があったことを、どうか忘れないでください。二度とあのような時代をつくってはいけません。

語り継がれる記憶⑤ 義勇軍に入り満州へ 何度も死を覚悟した

私は14歳のころに義勇軍に入り、満州に渡りました。ここではソ連軍の戦車に体当たりするための爆弾を製作。日本兵が爆弾を背負って玉碎する戦法で、私たちもいずれは同じ運命になると、子どもながらに覚悟をしていました。8月15日、日本の敗戦を知らせる玉音放送を聞いたときは涙がにじみました。自分の命もこれで終わり……。自爆しなければと、爆弾を背負って準備をしていましたが、ソ連との交渉で命をつなぎ留めることができたのです。



満州に渡る前、茨城県でした鉄砲訓練

終戦後は中国人の農家に、労働者として雇われる毎日が続きました。暗いうちから起こされ、日が落ちるまで農作業に使われる日々。どんなに働いても、タンポポの根にみそを塗っただけの質素な食

久保 常義さん (95) =立川中央=



防空壕の中にあった通信室



鹿屋基地から出撃する特攻隊



旧内子駅で出兵兵士の見送り



自治・学習課 学芸員
太尾 友香さん(24)

子ども達と一緒に考えた 戦争の記憶を受け継ぐこと——

地元の戦争体験に学ぶ 内子小学校の平和学習

内子小学校では毎年、6年生が平和学習を行っています。これまでは地域の方が講師を務めていましたが、今年は学芸員の私も講師で呼んでもらい、内子町の戦時中の暮らしを子ども達に紹介しました。講演では「戦時中は食糧難で運動場を畑にしていた」「芋あめがおやつだった」など、これまでに地域の人たちから集めた戦争の体験談を話しました。

千人針や竹槍といった実物にも触れてもらい、当時は誰が、どんな思いで使っていたのかを想像してもらいました。子どもたちからは「家族に戦争の話聞いてみたい」「戦争は二度としたくない」「平和のありがたさが分かった」などの感想が寄せられ、とてもうれしく思いました。戦時中と現代を比べることで、

平和が当たり前ではないと気づき、「戦争とは何か」を考えるきっかけにもなったと思います。

物や話を通して 戦争の記憶を受け継ぐ

現在、内子町では戦後80年の節目として、町内各地で巡回展を開催中です。私も展示を準備するにあたって、地域の人たちから戦争体験を伺い、教科書にはないリアルな声に触れることができました。戦争を知らない私たちのような若い世代が戦争の記憶を受け継ぎ、バトンをつないでいくことが大切だと感じました。皆さんもこの機会に展示に足を運んでもらい、当時の写真や道具を見て、戦争の記憶に触れてみてください。そして、家族や地域の身近な人と一緒に、戦争について話してみてください。



内子小学校6年生の平和授業の様子

まちの戦争の記憶に触れて、感じて——

戦後80年夏季巡回展「内子と戦争」

戦時中の内子町での暮らしを当時の写真や資料、体験談を通して紹介しています。各自治センターを巡回し、展示をしています。

●場所／期間

- ▷五十崎自治センター 7月31日(木)～8月13日(水)
- ▷内子自治センター 8月15日(金)～8月27日(水)
- ▷内子東自治センター 8月29日(金)～9月12日(金)

●時間 午前9時～午後5時(平日のみ)

【問い合わせ】

自治・学習課 生涯学習係
☎0893(44)2114

巡回展の詳細は
こちらから▶



展示を見たり、冊子を読んだりして、
考えてみませんか。戦争のこと、平和の尊さ——

『私の戦争体験記』と紙芝居DVD

町内の皆さんの貴重な戦争体験をまとめた一冊。戦争の記憶を次の世代へ伝えようと、平和への祈りを込めて作られました。(1冊1,000円で販売)

【問い合わせ】

保健福祉課 高齢者福祉係
☎0893(44)6154



◀紙芝居DVDはこちら
から見られます

広報うちこ 2015.8月号特集

戦後70年 語り継ぐこと

戦後70年を特集した号です。今月号と併せてぜひ読んでみてください。



昇さんに贈られた勲章



富雄さんの叔父、本田昇さん
満州で撮影した一枚



戦場へ向かう昇さんを
激励する「寄せ書き国旗」

言葉に耳を傾け、
記憶にふれ、
思いを巡らせる
それが未来の平和に

祖母と母から、 戦争を語り継ぐ

私の叔父・昇^{のぼる}は31歳のころ、昭和20年5月に沖縄県で戦死しました。本田家には今でも写真や勲章、寄せ書き国旗などの叔父の遺品が大事に保管されています。祖母や母にとっては、遺品を見るのはつらかったかもしれません。でも叔父が生きた証として残しておきたかったのだと思います。私は戦後生まれで戦争を体験してはいませんが、もの心ついたところから遺品を見せてもらったり、叔父の話の聞かされたりしていたので、戦争がどれほど悲惨で、多くの命や人生を奪うものであったか、想像するようになりました。

戦争の記憶を なくさないために

戦争が終わって80年が経ち、当時を知る人の声を直接聞ける機会は少なくなっています。語り継ぐ人が減ってしまえば、戦争の記憶はいずれ失われてしまいます。今の平和な暮らしを当たり前のように感じている人も多いかもしれませんが、この先もずっと続くと保証されたものではありません。だからこそ戦争の恐ろしさや平和の尊さを次の世代へ伝えていくことが大切だと思います。戦争を体験した人の言葉に耳を傾け、その記憶に触れることが、それが未来の平和につながる一歩になるのではないのでしょうか。

戦没者を悼み 思いを巡らせて——

内子町遺族会では町内にある二つの慰霊塔の手入れや、平和の大切さを語り継ぐ活動をしています。龍王城跡にある慰霊塔は、毎年8月13～15の3日間は開放されていて、一般の人も塔内に入るができます。塔内には720人の兵士の遺影が並んでいます。国のために命を捧げた若者の思い、彼らを見送った家族の悲しみに思いを寄せると、いたたまれません。この場所を訪れて戦争のつらさや平和の尊さについて思いを巡らせてみてください。一人でも多くの人が平和について考えるきっかけになることを願っています。



内子町遺族会 会長
本田 富雄さん(78) = 立石 =



2年に一度開かれる、内子町戦没者慰霊祭



龍王城跡にある慰霊塔の中に並ぶ兵士の遺影



龍王城跡にある慰霊塔 小田地域にある慰霊塔

アートを介して地域を知り、絆を深める 小田地域で新プロジェクトが始動

今秋、小田地域で開催されるイベント「アートベンチャーエヒメフェス2025」(愛媛県・東京藝術大学主催)に向けて、最初の説明会となるキックオフミーティングが6月23日、小田自治センターで開かれました。

会ではイベントの概要や、愛媛大学教授の井口梓^{あき}さんが制作するアート作品などの説明がありました。今回、井口さんはアーティストとして参加。



上_約50人が集まったキックオフミーティング
下_マップ制作のためのまち歩き

13年にわたり小田地域の歴史や文化を調査してきた成果である模造紙を布に転写し、一枚一枚縫い合わせて歴史の重なりや人々のつながりを表現する作品を制作します。プロジェクトに賛同する有志により、歴史文化にちなんで催しも実施予定です。



協定書に調印する大崎さん(左)と、小野植正久町長

全国植樹祭の象徴・木製地球儀が到着 巡回展示「ぐるっと植樹祭えひめ」

8年春に開催される「第76回全国植樹祭えひめ2026」を前に、大会シンボルの木製地球儀の巡回展示が始まりました。内子町には7月4日に到着し、引き渡し式が役場本庁で行われました。この地球儀は森林・林業が地球環境に重要な

役割を担うことを象徴して作られたもの。内子町では7月15日まで展示され、その後は約7カ月間で20市町を回ります。地球儀を受け取り、記念植樹を行った小野植正久町長は「大会まで内子町でもPRし、機運を高めていきたい」と話しました。



内子町へは大洲市に続く県内2番目に木製地球儀が展示された

コメリ災害対策センターと内子町が 災害時の物資供給協定を締結

NPO法人コメリ災害対策センターと内子町が「災害時における物資供給に関する協定」を締結し、調印式が7月3日、町民会館で行われました。同法人は、ホームセンター・コメリで取り扱う防災資機材を災害時に速やかに被災地へ届けるため、

全国の自治体と協定を締結。新潟県中越地震や能登半島地震の際も被災地を支援しました。中四国地区ゾーンマネジャーの大崎敏明^{としあき}さんは「災害が起きないのが一番だが、万が一のときはこれまでの経験を生かし、迅速に供給したい」と語りました。

豊かな音色がホールを包み込む 延べ900人が集った「スバル音楽祭」

吹奏楽の祭典「スバル音楽祭」が7月6日、文化交流センタースバルで開かれました。町内外の中学・高校吹奏楽部や、社会人楽団「ウインドアンサンブルカイツ」など13団体が出演。クラシックやマーチなど幅広いジャンルで、積み重ねた練習の成果を

披露しました。7年度の全国大会に進出した伊予高校も特別出演し、オリジナル曲「野球拳ファンタジー」など5曲で会場を沸かせます。最後は出演全団体が「アルメニア・ダンス」[「アルセナール」]を合奏。迫力ある音色をホールに響かせました。



幻想交響曲よりIV・V楽章などを披露したウインドアンサンブルカイツ

今宵はただ、季節の移ろいを語らおう 高橋邸で味わう「止談風月の夜」

内子町出身で「日本のビール王」と呼ばれた高橋龍太郎^{りゅうたろう}の生誕150周年を記念したイベント「止談風月の夜」が7月19日、文化交流ヴィラ高橋邸などで開かれました。この催しは龍太郎の生家・高橋邸に掲げる看板の「止談風月無用者可入」にちなんだもの。同家に寄贈された三輪田米山^{べいざん}の書、琴の演奏、敷地内のウメを使った梅酒やビー

ルなどを楽しみ、ゆったりとした時を過ごしました。またギャラリー^{そうぜ}創設では同日、龍太郎にまつわる話会も実施。参加者は静かに耳を傾け、郷土の偉人の生涯に思いを馳せました。堂下まみ子^{まみこ}さんは「大好きなビールの発展に尽くした人が内子にいたと知って驚き。隠れ家のような高橋邸の魅力を、皆さんもぜひ知ってほしい」と語りました。



溪谷沿いで多様な植物を観察。橋越さん(右)の解説に聞き入る参加者

生き物にその地の特色を見る 場所の専門家・トコロジストになろう

「トコロジスト講座」が7月19日、小田深山溪谷で行われました。トコロジストとは、その場所に詳しい専門家のことです。今回は溪流植物の葉などを観察し、標本作りを実施。約1時間の散策で、山地に生えるイヌブナや絶滅危惧種のクマヤマゲ

ミなど、多様な植物が見られました。指導した愛媛植物研究会の橋越清一^{きよかず}さんは「小田深山には約1200種の植物があるといわれ、希少種も多い。証拠標本を残すことは、自然環境を知るためにも価値あること」と話しました。



上_龍太郎が育った邸内で、時の流れを感じて静かに過ごす参加者
下_味わい深い梅酒を楽しんだ

ソフトテニス *Soft Tennis*

四国大会出場

—Close Up— クローズアップ

頂へ挑む夏

全国大会出場をかけて躍動する内子高校生

いよいよ夏本番。部活動に励む多くの高校生にとって勝負の季節がやってきました。そして今年も、うれしい活躍のニュースが続々と届いています。今回は、全国の舞台を目指して四国大会を戦った内子高校の皆さんを紹介します。そこには夏の暑さにも負けない、熱い思いがありました。



中野真之介さん(3年)
大洲市

増本祐希さん(3年)
内子21

3年間の集大成に達成感

(中野さん) 四国大会では初戦から強豪校と対戦。相手の速いボールにも攻める気持ちを持ち続け、キャプテンとして納得のプレーはできたと思います。チーム全員で成長できた、最高の3年間でした。

心の成長もこれからの力に

(増本さん) 全国大会の常連校相手に粘り、集中を切らずファイナルまで戦えたことは自信になりました。目標に向かって努力するメンタルは部活だから得られたもの。今後の勉強にも生かしたいです。



(写真提供：内子高等学校)

陸上競技 *Track and field*

祝 全国大会出場



令和7年度全国高校総合体育大会陸上競技大会
・男子走り高跳び
堀本翔馬
・女子やり投げ
松岡夢華

支えてくれた憧れの先輩に いい結果を報告したい

先輩に憧れてやり投げを始めました。四国総体では風に乗って自己ベストを更新。でもまだまだ課題がいっぱい。力を出し切れば結果は付いてくると分かったので、これに満足せずに全国大会でさらに記録を伸ばして、これまで練習を支えてくれた先輩にも、いい報告をしたいです。

自分らしい跳躍で 目指すは2mの大台突破

目標は2mジャンパーです。技術的にはまだ未熟だけど、四国大会で初めて1m95をクリア。先生に「翔馬らしい跳躍だったよ」と言ってもらい、自分の跳び方に自信が持てました。冬場のつらい練習に耐え抜いた自信と、部のみんなの期待を背負って、全国で大台に挑みたいです。

堀本翔馬さん(3年)
内子19第1

松岡夢華さん(2年)
大洲市

ライフル射撃 *Rifle shooting*

祝 全国大会出場



第63回全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会
・B R男子40発／安川東吾、久保紀美徳、井上一輝、西村颯
・B R男子学校対抗戦／安川、久保、井上
・B R女子40発／崎野美羽、大岡ゆめ
・B R女子学校対抗戦／崎野、大岡、久保絢夏

第3回全日本高校生スポーツ射撃競技選手権大会
・B P男子40発／向井政棟
・B P女子40発／竹本有沙

これまでの積み重ねを どれだけ出せるかの勝負

去年に続いて2度目の全国大会です。3年生になった重圧が、今年は予選で今までにないミスが——。「記録を出したい」という気持ちもあったのかもしれませんが、「これまで積み重ねてきたものだけが、点数に現れる」という気持ちで、今まで通り、しっかりやり切ろうと思います。

安川東吾さん(3年)
大洲市

一発の重みが増す全国 集中を切らず臨みたい

予選の団体戦では一番手としてチームに勢いをつけようと、ライバルを超える点数を出せました。頭で余計なことを考えると体の動きに影響するので、気持ちを切らさないことが大切。今年が初めての全国大会で、予選より一発の重みが増すと思います。自分のリズムで集中して臨みたいです。

崎野美羽さん(3年)
大洲市



1_ アマゴのつかみ取りに挑戦。勢いよく泳ぐ魚をナイスキャッチ 2_ 子どもたちに大人気のスーパーボールすくいコーナー。ポイの紙が破れても、諦めないぞ 3_ 赤や青、金色の光が夜空を彩り、夏祭りを締めくくった

水しぶきも、花火も、笑顔もはじける 本町通り商店街で「内子夏祭り」

「内子夏祭り」（同実行委員会主催）が7月12日、内子町本町商店街周辺で開かれました。

今年は初の試みとして、アマゴのつかみ取りがまちの駅 Nanze の特設プールで行われました。開始前から多くの子どもたちが集まり、合図とともに待ちわびた様子で飛び入ると、素早い動きの魚を追いかけて水しぶきを上げていました。また本町通りには輪投げや金魚すくいなどのゲームコーナーが並んだ他、焼きそばの屋台やキッチンカーの周辺はおいしそうな香りが漂います。子どもたちはかき氷、大人はビールを片手に涼みながら、夏のひと時を楽しんでいました。

祭りのクライマックスには、知清河原から約200発の花火が打ち上げられました。夜空が照らされると同時に「わあっ」と沿道から歓声が上がり、花火を見つめる瞳も色とりどりに染まりました。実行委員長の大本裕也さんは「たくさんの笑顔が見られて大成功。初めてのアマゴのつかみ取りも好評だった。これからも子どもたちが楽しめる場を残していきたい」と語りました。



ボートに乗って、川の中をのぞいてみよう

遊んで学ぶ、水辺の時間 小田川の魅力満載「元気わくわく川まつり」

川に親しみ、魅力に触れる「元気わくわく川まつり」が7月20日、豊秋河原で開かれました。参加者は安全な遊び方の説明を受けた後、生き物が描かれた石を水中から探す「ぞぶりんぐ」や水生生物観察、河川敷での木登り遊びなど7つのブースを自由に体験。脇坂達也さん（天神小3年）は「全部楽しかった。夏休みは川でたくさん思い出をつくりたい」と満足そうでした。



探索のため暗闇を照らすと、明かりに怪物が寄ってきて……

夏の暑さを忘れる恐怖体験—— 謎解き×お化け屋敷「風博ナイトメア」

「風博ナイトメア」が7月22・25の両日、五十崎風博物館で開催されました。お化け屋敷に見立てた夜の館内で、参加者は地図を頼りにカードを集めて出口を目指します。突然現れる怪物にハラハラしながら、昼間と違う雰囲気博物館を味わいました。田中歩果さん（内子中1年）は「想像よりも難しくて、恐かった。風も夜だといつも以上に迫力を感じる」と話しました。

夏のゲレンデを夢中で駆け抜ける一日 小田深山でMTBレースが復活

「第1回小田深山MTBフェスティバル」が7月6日、ソルファオダスキーゲレンデで開かれました。

スキー場の傾斜を生かしたコースをマウンテンバイクで走る本大会。カテゴリーはオープン・ビギナー・レディースの3つで、子どもからベテランまで一人5回、2コースで並走してタイムの速さと安定性を競います。選手は次第に芝が削れて滑りやすくなるコースに苦戦。観客から「ペダルを踏め、踏め」と声援を受け、それぞれの走りを楽しみました。また子ども向けのフリーライドでは、保護者に支えられて果敢に挑む楽しそうな声が響きます。西岡幸治さん(51)=松山市=は「走るたび楽しくなるコース。自転車仲間とつながれるのもうれしい」と話しました。

主催者でMTBインストラクターの山口広隆さんは「自転車を始めた20数年前、MTBレース『小田深山リッジランナーカップ』で勝負の楽しさを知った。多くのバイカーが育ったこの地を、当時を知る僕たちおじさんも若い世代も、再びみんなが集える場にしていきたい」と充実した表情で振り返りました。



1_ 2人同時にスタート。各コースは全長や傾斜が微妙に違い、どちらを走るかも作戦のうち 2_ 必死な表情で滑走する参加者 3_ 子どもたちも同コースでフリーライドに挑戦 4_ 入賞者にはオリジナルの木製メダルが贈られた

健康づくりと親睦の輪を広げる 町老連が「ボッチャ体験会」を初開催

内子町老人クラブ連合会主催の「ボッチャ体験会」が7月9日、内子スポーツセンターで行われました。町内3支部から計41チーム・約130人が参加。未経験の参加者も、ルールを学びながら和気あいあいとプレーしました。第一寿楽会Cチームの山崎カズ子さん(98)は「何でもやってみようと思って参加。勝ち負けはともかく、いろんな人と交流できることが楽しい」と笑顔でした。



白いボールに近いほど加点。一投の行方は……

川や海で、もしものときは「浮いて待て」 夏休み前に小中学校で着衣泳教室

水難事故から命を守る方法を学ぶ「浮いて待て教室」が町内の小・中学校で開かれました。五十崎中学校では7月15日に開催し、内子消防署の職員が「溺れそうになったとき、無理に泳ぐと体力を奪われる。まずは浮いて助けを待つこと」と説明。生徒は体操服でプールに入り、水の重みや動きにくさを感じながら、靴やペットボトルを使って浮かぶ方法などを学びました。



口を水面に出し、お腹を空に向ける「背浮き」の練習



HAPPY BIRTHDAY

おめでとう はじめてのバースデー

8月に満1歳になる子どもたちを紹介します。

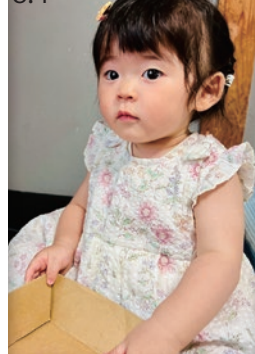
「はじめてのバースデー」への掲載案内は、誕生月の前々月上旬にお送りしています。ぜひ、応募してください。

8.17



山本 来茉ちゃん 西沖
いつもここにこ来茉スマイルで、これからもみんなを魅了してね。

8.4



石田 夏夕ちゃん 中町
どうも夏夕です☆ お兄ちゃん大好き♡ みんなも大好きだよ☆

命の大切さ、親の思いを伝える「いのちの授業」 赤ちゃん和妈妈・パパを募集します

「いのちの授業」では、中学生に命の大切さを伝えてくれる親子を募集しています。中学生が赤ちゃんに触れ合い、子育ての話を聞くことで、命の大切さや自分の将来を考える機会になっています。赤ちゃんと一緒に交流を楽しみませんか。



▶ 昨年開催した「いのちの授業」の一場面

- 日時 10月30日(木)
午前9時30分～11時
- 場所 五十崎体育館
- 内容 五十崎中学校の3年生に、赤ちゃんを抱っこさせてあげたり、子育てのエピソードを話したりしながら交流
- 対象 3カ月～1歳くらいの赤ちゃんと保護者
- 申込期限 10月10日(金)
※会場には授乳・おむつ替えのスペースを用意しています。
- 【申込・問い合わせ】
内子町子育て支援センター
☎0893(44)6355

FROM ME TO YOU



みんなでつないでリレーエッセイ



「認知症のひととの関わりの中で」

黒田 慧史さん(37)
＝富長＝

皆さんは「認知症」と聞くと、どのようなイメージを持ちますか。「物忘れがひどくなる」「何もできなくなる」「危ない」といった、不安な気持ちになる人もいるかもしれません。

私は介護の仕事をして約20年になります。多くの人をケアする中で、「認知症になっても、何もできなくなるわけではない」と強く感じています。症状にもよりますが、ほんの少しの手助けがあれば、できることはたくさんあります。私たちの仕事は、認知症の人が喜びや楽しみを感じながら毎日を過ごせるよう、そつと手を差し伸べサポートすることです。

私の目標は認知症の人が自宅や住み慣れた地域で、できるだけ長く暮らせるように支えることです。症状が進行すると自宅での生活が難しくなったり、家族の負担が大きくなったりする場合もあります。しかし、ちょっとした知識や支援、気軽に相談できる場所があれば、その負担を軽くできると信じています。

そこで、この8月に旧御祓小学校「みそぎの里」で「認知症カフェ」を立ち上げることになりました。認知症の人やその家族、地域住民が気軽に集える場所です。おしゃべりをしたり、情報交換をしたり、専門職への相談もできたりします。私が勤務する「グループホームあまご」で運営していきます。

▼次は、藤澤智さん＝成内＝にお願いします。

監修 内子町食生活改善推進協議会

「今月の食改さん」



宮岡 よしこ 淑子さん
＝内子19第1＝

●材料(2人分)

スパゲティ2束／オクラ8本／トマト1個／ツナ(水煮)40g／大葉4枚／A砂糖大さじ1/2、酢大さじ1/2、食塩少々、鶏ガラスープの素小さじ1、ごま油大さじ1と1/2

●作り方

- ①オクラはゆでた後、小口切りにする。トマトは1センチ角に切る。
- ②鍋にたっぷりの湯を沸かしてスパゲティをゆでる。ざるに上げて冷水で洗い、水気をよくきる。
- ③ボウルに①とツナ、Aを入れて混ぜ合わせる。
- ④スパゲティに③をのせ、千切りにした大葉を盛り付けて完成。



季節の一皿

SPECIAL DISH

「オクラとトマトのさっぱりスパゲティ」

Q 広報クイズ

「広報うちこ」8月号を読んで、①～⑥番の丸印をひらがな・カタカナでうめてください。小さい「っ」「ゅ」や、「が」などの濁音も一文字とします。「●」の文字を①番から順につなぐと、ある言葉になります。どんな言葉でしょう。

- ①五十崎小学校の下野梨瀬さん。大人になったら災害「○○○○○●」活動をしたいと話してくれました
- ②自然の魅力を感じよう。豊秋河原で元氣わくわく「○○●○○」を開催
- ③ALTのガブリエルさんは「●○○○」市での思い出を語ってくれました
- ④国際理解講座を開催。ハワイの文化や「○○○○●」を教わりました
- ⑤全国植樹祭のシンボルである「○○○●○○○○○」を内子町で展示
- ⑥心不全の予防は、「○○●○○○○○○○○○○○」の予防から

応募方法：ハガキに答え、氏名、住所、年齢を書いて送ってください（1人1通まで）。正解者の中から抽選で10人に図書カード（500円）をプレゼントします。
宛先：〒795-0392
内子町平岡甲168番地 内子町役場 企画情報課 広報・広聴係
締め切り：8月31日（消印有効）
当選者発表：「広報うちこ」10月号

● 6月号当選者の皆さん

答え「あまやどり」 正解数26

- ・城戸 和美さん（内子4）
- ・川口 信夫さん（内子11）
- ・宮内 時夫さん（内子13）
- ・富永 節子さん（護国）
- ・久保 健作さん（富中）
- ・向井 哲行さん（西沖）
- ・富岡 節子さん（池窪）
- ・堀本 桂一さん（中通り）
- ・大沼真知子さん（大洲市）
- ・酒井 大輔さん（伊予市）

内子町では夏の温暖化対策として、みんなで涼しい場所に集まって涼を分かち合う「クールシェア」を推奨しています。今回は家庭や地域で楽しみながらできる方法を紹介합니다。暑い夏を節約しながら

SAVE THE EARTH くらしの エコロジー

エコで涼しい
クールシェアのすすめ

- 《取り組み方法》
- ①家族団らんで涼をシェア
家庭での夏場の電気使用量の大半はエアコンです。家族が一部屋に集まれば、使用量を減らせます。
 - ②外に出かけて暑さをしのぐ
図書館や自治センター、カフェなど、まちにある涼しい場所で過ごすのもクールシェアです。家庭の電気代も節約できます。
 - ③自然の中で過ごす
木陰や水辺など、自然の中で過ごすのもおすすめです。夏でも気温が低い小田

【問い合わせ】
環境政策室
☎0893(44)6159



涼しくて、景色も気持ちがいい
小田深山溪谷

深山溪谷で涼を味わうなど、内子町の豊かな自然の中でリフレッシュしてみてください。

VOICE まちの声

自転車用ヘルメットの購入で、補助金を利用したい

□自転車用ヘルメットの購入費補助を申請したいです。どの店で購入しても補助の対象になりますか。（20代男性）

■町内の販売業者に限りません。補助金の額は購入費の1/2以内（上限3,000円）

で、申請は使用者一人につき1回までです。ヘルメットには安全基準のマークが必要です。申請方法など、詳しくはご相談ください。

【問い合わせ】

総務課 消防水防係
☎0893(44)6150

「おいしく健康に」地域に伝え続けて

森岡 マサミさん（74）＝護国＝

長年にわたる地域での栄養改善事業の功績をたたえられ、森岡マサミさんが愛媛県栄養関係功労者知事表彰を受賞しました。森岡さんは平成17年から内子町食生活改善改善推進協議会の会員となり、平成28年からは会長を務めています。同協議会では高校や高齢者サロン、幼稚園の親子教室などで、食事と栄養の大切さを伝える活動を実施。森岡さんは「私自身も町の管理栄養士さんに教わったり、会員同士でメニューを教え合ったり、すごく勉強になる」と話します。また令和4年には地域の郷土料理のレシピをまとめた本『内子ふるさと味の味』を作成。「郷土料理には日持ちさせるための調理法、手に入らないものに代わる食材など、生活の知恵がいっぱい。この素晴らしい食文化を継承していきたい」と力を込めます。

活動について「会員同士の交流も、この会の魅力」と話す森岡さん。「皆さんの支えがあったから長く続いた。料理や会話を楽しみながら学び、自分や家族の健康を考えられる場所。興味がある人はぜひ、気軽に参加して」と笑顔がこぼれました。



TOWN'S STAR

内子町の人☆キラリ

船、城、B級グルメ！ 今治を満喫した一日

5月に友達と今治市を旅行しました。初めて巡る今治は見どころがいっぱいで、とっておきの思い出ができました。

最初に訪れたのは「バリシップ」という国際海事展です。会場には造船に関わる多くの企業が世界中から集結。船をさびから守る特別な塗料や熱をすぐに感知するカメラなど、それぞれの企業の最先端技術を見られます。専門的な内容でしたが、学ぶことが多くとても面白かったです。

続いて向かったのは今治城です。城内は6階建ての展示施設になっていて、甲冑などの古い武具や書道などの芸術作品がずらりと並んでいました。どれも工夫を凝らした展示で、日本の歴史や文化に触れ

られる貴重な時間でした。最上階の天守閣からは、今治のまちと瀬戸内海の島々を一望できます。思わず息をのむような素晴らしい景色でした。敷地内にある吹揚稲荷神社も印象的で、社殿の繊細な彫刻や、いくつも連なる朱色の鳥居が美しかったです。

旅の締めくくりには名物「焼豚玉子飯」を堪能。クラフトコーラとの相性も抜群で、最高に良かったです。実はアメリカにいた頃は卵が苦手だったのですが、日本の卵料理に出合ってから少しずつ好きになってきました。日本での生活は、私の好みや感覚をどんどん変えてくれています。大満喫だった今治旅行。また訪れる日が今から待ち遠しいです。



吹揚稲荷神社の鳥居の前で撮影した、お気に入りの一枚

HELLO!!!

FROM AROUND THE WORLD

外国語指導助手

ガブリエル・バスケス

Gabrielle Vasquez



国際交流協会活動報告

インターン生に教わる ハワイ文化とフラダンス

ALT(外国語指導助手)などを講師に迎え、海外の文化や習慣を学ぶ「国際理解講座」を7月18日に開催しました。今回の講師は、(公財)愛媛県国際交流協会が受け入れているハワイ大学からのインターン生・アリーさんとジェフリーさん。「Aloha」などのハワイ語が消滅の危機にあることをクイズを交えて紹介したり、みんなで紫色の山芋「Ube」のクッキーを食べたりして、ハワイの文化を伝えました。その後は伝統的な踊り「フラダンス」を体験。参加者は「ゆったりした踊りのイメージだったけれど、手や足の動きが速くてびっくり」「スカートを着て、上手く踊れたような気分になれた」と講座を振り返りました。講師の2人は「魅力を紹介できてうれしい。自分たちもハワイの良さを再発見できた」と笑顔でした。



上_ハワイ語を教える講師の2人 下_「マハロ(ありがとう)」のポーズで集合写真

お知らせ

01 記念事業ボランティアで国際交流

内子町国際交流協会の設立30周年を記念し、イベントを開催します。当日は外国や日本の文化を体験するブースを開きます。

現在、運営を手伝うボランティアスタッフを募集中です。ALTや事務局がサポートするので、

外国語が話せない人も大歓迎。一緒に国際交流を楽しみましょう。

●日時 9月28日(日) 午前9時30分～午後3時

●申込方法 9月5日(金)までに事務局へご連絡ください。

お知らせ

02 賛助会員を募集します

当協会では、海外派遣事業をはじめとした活動を支援する賛助会員を募集しています。国際交流に興味のある人や、活動に賛同いただける人の入会をお待ちしています。

●年会費(一口) 個人2,000円、団体1万円

●特典 会報「UTIAフレンズ」を年2回送付
※申し込み方法などの詳細は事務局までお問い合わせください。

図書館 へ 行こう

内子町図書情報館

〒791-3301
内子町内子3427番地
☎ 0893(44)4198
開館時間：午前9時30分～午後8時 ※8月は時間延長(月曜日・月末整理日は休館日)

詳しい情報はホームページで紹介しています。併せてご覧ください▶



●内子町読書感想文募集

◎応募資格 町内在住・在学の小・中学生、高校生、一般

◎応募用紙 縦書きの原稿用紙で、自筆のもの

◎字数

▽小学校低学年 800字以内

▽中・高学年 1200字以内

▽中学校、高校、一般 2000字以内

※題名・学校名・氏名は字数外

◎応募期限 10月10日(金)

●おはなしボランティア研修会

読み聞かせの技術を学ぶ研修会を開催します。

▽日時 9月3日(水) 午後1時30分～3時30分

▽テーマ 異年齢集団対象のお話をひらいてみよう! 変わ

り絵シアターを作ってみよう!

▽講師 阪東展さん

▽申込期限 8月24日(日)

●開館時間を試験的に延長

夜間の利用状況を調べるため、8月・10月・8年2月は午後8時まで開館します。

「8月の予定」

●企画展

▽「内子のトンボ展」

●おすすめ図書コーナー

▽「写真絵本 写真に関する本」

●おはなし会

▽土曜日・午後2時

●文学講座

▽8月2日(土) 午前10時

●大人の絵本セラピー

▽8月10日(日) 午前10時

新着図書紹介

その他の新着情報はホームページをご覧ください。

♣一般図書



音声と写真でよみがえる昭和(戦前編) 保阪正康/著
震災復興と金融恐慌から、日米開戦までを収録。NHKに残る貴重な音声をQRコードから聞き、写真やイラストを見ながら昭和を追体験する



風のマジム 原田マハ/著
「南大東島のサトウキビでラム酒を造りたい」。持ち前の体当たり精神で島に渡った主人公・まじむが夢をかなえるまでを描いた実話



パズルと天気 伊坂幸太郎/著
マッチングアプリ探偵、天気の話ばかりする男、犬たちの逆襲……。デビュー25周年を迎えた著者が描く、ユーモアたっぷりの短編集

♥児童図書



ちょうちょむすびのムスビーナさん あさのますみ/文
ウサギのおばあさん・ムスビーナ。アライグマのお母さんから結び方を教えてと頼まれた。ムスビーナは自慢の耳を使って結ぼうとするが……



知ると楽しい! すしのすべて 「すしのすべて」編集部/著
世界に誇る日本の魚食文化「すし」。歴史や握り方などの基礎知識から、さまざまなすしネタ、全国各地の郷土ずしまで、幅広く学べる一冊



ぼくたちの歌 辻貴司/作、みすず/絵
「バンドを組みたい」と夢を抱いていた一翔。ある日、公園でドラムを演奏する少年・岳と出会い……。真つすぐな少年たちの青春バンド小説

○数々の展示が並ぶ舞台裏をのぞいてみよう 内子座楽屋の入館料が特別価格に

- 内子座では保存修理工事中も楽屋を公開しています。内子町民は無料で入館できますが、町外の人にも内子座についてもっと知ってもらうため、期間限定で入館料を割引します。伝統文化施設3館(内子座・上芳我邸・歴史民俗資料館)のセット券も特別価格となります。
- 割引期間 8月1日(金)～令和10年12月末(予定)
- 割引後の入館料
- ▽内子座楽屋 大人200円、小人100円
▽3館セット券 大人700円、小人350円
- ※内子町民は顔写真付きの身分証明書を提示すれば無料です。
※20人以上の団体料金はホームページをご覧ください。
- ID 143964
- 【問い合わせ】
町並・地域振興課 伝統文化施設係
☎0893(44)2118

○内子座保存修理工事の見学会

- 内子座の保存修理工事の様子を見学しませんか。仮設足場から建物を眺め、工事内容などを説明します。
- 開催日 9月13日(土)、15日(月)
- 時間 午前9時～10時30分／午後1時30分～3時
- 対象 小学生以上(児童は保護者の同伴が必要)
- 定員 各回20人程度
- 参加費 500円(保険料込み)
- 申込方法 次の専用フォーム・メール・電話のいずれかで、こちらの専用フォームからも申し込みできます▼
- ※申込結果を8月28日(木)にお知らせします。
- 【申込・問い合わせ】
町並・地域振興課 伝統文化施設係
☎0893(44)2118
✉machinami-g@town.uchiko.ehime.jp

○不要な木材を有効活用し、森も地域も元気に 「木こり市場」に参加しませんか

- 「木こり市場プロジェクト」は、出荷しない不要な木材などを買い取り、森林保全と地域活性化を目指す取り組みです。
- 開催日 8月～12月の第1火・水曜日
- ※詳しくはお問い合わせください。
- 場所 内子バイオマス発電所(寺村2478-1)
- 対象の木材 端材や出荷しない木材で、長さ1m以上のもの
- 買取金額 木材1トン当たり8千円(4千円分を加盟店などで使える地域通貨で、残りを現金で後払いします。)
- ※参加希望者は事前にお申し込みください。
- 【申込・問い合わせ】
○農林振興課 林業振興係
☎0893(44)2123
○小田支所
☎0892(52)3111

○町営住宅の入居者を募集します

- 住宅の規格・家賃など
《隅川団地 203号》
▽住所 内子294番地
▽構造 中層耐火4階・S52建
▽面積他 59・3㎡、3DK
▽家賃(月額) 1万5200円
※駐車場なし
- 《中田渡団地 150号》
▽住所 中田渡52番地1
▽構造 木造2階・S59建
▽面積他 67・5㎡、3DK
▽家賃(月額) 1万1900円
※駐車場あり(無料)
- 《共通事項》
- 入居資格 住宅に困窮して月額所得が15万8000円以下の人。同居中または同居しようとする親族がある人
- 申込方法 建設デザイン課・内子分庁・小田支所にある申込書を提出してください。
- 申込期限 8月22日(金)
- その他 入居時に家賃3カ月の敷金が必要です。
- ID 143971
- 【申込・問い合わせ】
建設デザイン課 管理係
☎0893(44)6157

免除・猶予された保険料を後払いできる 国民年金の「追納制度」をご存じですか

コラム*ねんきん瓦版

国民年金保険料の免除や納付猶予、学生納付特例などの承認を受けた期間がある人は、全額納付した場合よりも、将来受け取る年金額が少なくなります。ただし、10年以内であれば保険料を後払い(追納)することができます。

●追納のメリット

①将来の年金額が増える

免除や猶予を受けた保険料を後から追納することで、受け取る年金額を増やせます。1年分を追納した場合に増える年金額(年額)は、全額免除の期間なら約1万円、納付猶予や学生納付特例の期間なら約2万円です。

②社会保険料控除を受けられる

納めた保険料は社会保険料控除の対象となり、所得税や住民税が軽減されます。

●申請・納付方法について

追納するには事前の申請が必要です。年金事

務所の窓口か、郵送で手続きができます。

追納が承認されたら日本年金機構から納付書が送られます。金融機関やコンビニエンスストア、スマートフォンアプリなどで納付してください。

※免除などを受けた期間の翌年度から起算して3年度目以降に支払う場合は、加算額が上乗せされます。早めに手続きをしましょう。

※詳しくは日本年金機構のホームページをご覧ください。

追納制度に関する詳細は、
こちらで確認できます▶



【問い合わせ】

○松山西年金事務所

☎089(925)5175

○住民課 国民年金係

☎0893(44)6152

内子の夏の 花火大会

《いかざき花火大会》

●日時 8月13日(水) 午後8時～

※荒天時は15日(金)に延期

●場所 豊秋河原

※駐車場は役場本庁、五十崎自治センター
をご利用ください

●主催 いかざき花火大会実行委員会

【問い合わせ】五十崎自治センター

☎0893(43)1221

《寺村山の神火祭り》

●日時 8月15日(金) 午後6時～

※荒天時は16日(土)に順延

●場所 寺村商店街周辺

●主な催し 花火(午後8時頃～)

【主催・問い合わせ】小田支所

☎0892(52)3111

○高校入学資格を得るための国の試験 「令和7年度中学校卒業程度認定試験」

病気で中学校を卒業できなかった人などを対象に、「中学校卒業程度認定試験」を行います。

●対象者 8年3月31日時点で満15歳以上で、次のいずれかを満たす人

▽病気その他のやむを得ない理由で中学校を卒業していない

▽日本国籍を有しない

●試験日 10月16日(木)

●会場 愛媛県中予地方局

●願書受付期限 8月29日(金)

※当日消印有効

【書類請求・問い合わせ】

愛媛県教育委員会 義務教育課

☎089(912)2941

○学芸サポーター活動の成果報告展 古文書から読み解く内子のくらし

学芸サポーターは博物館での調査活動などに協力し、まちの歴史を掘り起こす活動をするボランティアです。

これまで上芳我家や森家に残る古文書の解読作業などを進めてきました。今回は資料から読み取れた当時の人々の生活や商業・産業などについて展示を行います。

●期間 9月30日(火)まで

●開館時間 午前9時～午後5時

※入館は午後4時30分まで

●場所 木蠟資料館上芳我邸

●入館料 大人500円、小人250円

《関連事業》ふすまの下張り文書はがし

ふすまの補強に使われる「下張り」という紙の中に隠れた、貴重な古文書を探してみませんか。

●日時 8月8日・22日・9月12日・26日／午前10時～正午

※途中参加・退室もできます。

●場所 木蠟資料館上芳我邸

●対象 10歳以上

●参加費 無料

●準備物 汚れてもいい服装、マスク

【問い合わせ】

木蠟資料館上芳我邸

☎0893(44)2771

○初心者でも無理なく楽しめる 「るるるん体操教室」で楽しく健康に

運動不足解消や体力づくりに、体操教室に参加しませんか。次の日程で無料体験を行います。

●日時 9月4日(木)

午前10時～11時



運動習慣を身に付けよう

●場所 六日市自治会館

●講師 稲田加津子さん(フィッ トネスインスストラクター)

●持参品 室内シューズ、タオル、飲み物、ヨガマット(持っている人)

●参加費 無料

※体験後、継続して参加したい人の入会を受け付けます。月2回の開催で、入会後は会費2000円/2カ月が必要です。

【問い合わせ】

内子町保健センター

☎0893(44)6155

○健やかな毎日過ごすために学ぼう 「健康まつり2025」のご案内

町民一人一人が健康について考えるイベントを開催します。

「ウソ? ホント?」をキーワードに、あなたの健康常識をアップデートしてみませんか。一緒に楽しく学びましょう。

●日時 9月6日(土)

午前9時～正午

●場所 共生館

●主な催し

▽講演 「生活習慣病の新常識」

「巷に溢れるウソ? ホント?」

▽講師 中口博允さん・愛媛大学医学部附属病院第三内科(内分泌・代謝内科)

▽高池健康づくり優良者表彰式

▽各種団体によるバザー 他

【問い合わせ】

内子町保健センター

☎0893(44)6155

人権コラム*幸せへの道

「寝た子を起こすな」

同和問題(部落差別)を語ろうとすると、「もう差別なんてないのだから、わざわざ触れるな」「差別の話をしたら、かえって意識して差別するようになる」と意見が出る場合があります。

「寝た子を起こすな」とは、「同和問題を知らない子に、そのことを知らせるな・教えるな」という意味で使われます。この考え方は、今なお根強く私たちの周りに存在しています。

《「寝た子を起こすな」が、なぜ問題なのか》

- ①差別を正す機会を失う
差別に気付かないままでは、差別を放置し、是正の機会を失ってしまいます。
- ②無知が差別を生む
知らないからこそ偏見を持ち、無意識に差別的な言動をとってしまうことがあります。
- ③「静かな差別」の温床になる
表立った差別は減ったように見えても、就職

差別や結婚差別、インターネット上の差別は今も存在します。それに気付かないふりをすることは、実質的な差別の容認です。

「寝た子を起こすな」の考え方は、無関心という名の差別の温床となり得ます。誤りであることを正しく理解し、差別の根っこにあるものを見つけ出し、みんなの力で断ち切る絶え間ない努力が不可欠です。人権・同和教育は、差別があることを前提として、それをなくすために学ぶ教育です。だからこそ教育によって意識を「起こす」ことが必要です。一人一人が正しい知識を持ち、間違った考えは修正し、差別に対する揺るぎない判断力・行動力を身に付けていきましょう。

【問い合わせ】

内子町教育委員会 自治・学習課 生涯学習係

☎0893(44)2114

《栄養学級》作って学ぼう

参加
無料

元気ごはん塾

働き盛りの世代を対象に、栄養に関する講話と調理実習を行います。忙しいときこそ、調理のちょっとしたコツで手軽に栄養バランスを整えましょう。自身や家族の健康を守るために、一緒に学んでみませんか。

- 場所 内子保健センター
- 対象者 町内在住で20～49歳の人(先着15人)
- ※全3回の教室に参加できることが条件です。
- 持参品 エプロン、三角巾、タオル、米0.5合、筆記用具
- 申込方法 右の申込フォームか、電話でお申し込みください。
- 申込期限 8月29日(金)



メニューの一例

《託児サービスについて》

託児を先着6組まで利用できます。子どもの食事は各自でご用意ください。

【申込・問い合わせ】

内子町保健センター

☎0893(44)6155

開催日	時間	内 容	
		講話	調理実習
9月12日(金)	午前9時30分～午後1時	筋肉と脂肪のバランスを測定してみよう	カラダ喜ぶ! バランスごはん
10月8日(水)		無理なくできる減塩のコツ	適塩でおいしいごはん
10月22日(水)		野菜足りてる? 無理なく増やすコツ	野菜たっぷり彩りごはん

○10月1日から家電4品目は収集対象外に
ごみ処理手数料・収集方法が変わります

ごみ処理手数料と、粗大ごみの収集方法が10月1日から変わります。

《クリーンセンターへの持ち込み》

●処理手数料

手数料は50kgまでは500円、50kgを超える場合は10kgごとに100円加算されます。

※指定ごみ袋に入れて持ち込む場合は不要です。

《町の粗大ごみ収集》

●収集運搬手数料

戸別収集の場合に、収集運搬手数料として2000円が加算されます。

※役場本庁へ直接持ち込む場合は不要です。

●家電4品目が対象外に

テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機、エアコンの「家電4品目」は、収集の対象外となります。次の方法で処分してください。

▽買い替える場合 新しい製品を購入する店舗に引き取りを依頼してください。

▽処分の場合 購入店舗に引き取りを依頼するか、次の

事業者などにご相談ください。引き取りにはリサイクル料金や運搬料が必要です。

《引取可能な事業者》

事業者		収集方法
愛明電化	奥野電器	自宅引取可
黒田電器商会	エディオン小田店	持込
内子町シルバー人材センター	持込	自宅引取可
（株）上田組	（株）鍛冶岡産業	持込（家電リサイクル券の購入が必要）
四国西濃運輸（株）大洲営業所	持込（家電リサイクル券の購入が必要）	持込（家電リサイクル券の購入が必要）

※9月の町の粗大ごみ収集は現在の条件で実施します。希望者は8月29日（金）までにお申し込みください。「粗大ごみ収集申込票」は広報うちこ4月号に掲載しています。

【問い合わせ】

○環境政策室

☎0893（44）6159

○内子町クリーンセンター

☎0893（44）4574

募集

県立病院の看護師として
あなたの力を生かそう

愛媛県立病院などで勤務する看護師を募集します。転職や復職を検討中の人も大歓迎です。

●対象 看護師免許を有する人
または8年4月末までに取得見込みの人

●応募期限 8月29日（金）

●試験日 9月13日（土）

●試験会場 愛媛県民文化会館別館

詳しくは愛媛県立病院看護師採用情報サイトへ▼



【問い合わせ】

愛媛県公営企業管理局総務課

☎089（912）2790

再就職に向けて技能習得
公共職業訓練生を募集

再就職を希望する人を対象に、新たな技術や専門知識を身に付ける職業訓練を実施します。

●対象 ハローワークの受講指示・推薦を受けられる求職者

●募集科 機械CAD／NC、溶接ものづくり、電気設備技術、住宅・福祉リフォーム

●訓練期間 10月2日（木）から6カ月間

●受講料 無料

※教科書、作業服などは自己負担

●応募期限 9月1日（月）

詳細はホームページをご確認ください▼



【問い合わせ】

ポリテクセンター愛媛

☎089（972）0329

果樹・茶業の専門知識を
学ぶ研修生を募集します

●研修コース／定員

▽落葉果樹（ナシ、クリ、モモ、ウメなど）／15人

▽常緑果樹（カンキツ）／15人

▽茶業／20人

●研修内容 栽培技術、ほ場管理に必要な作業などに関する講義実習

●研修期間 2年間

●募集期間

▽推薦 9月5日（金）

▽一般（前期）9月22日（月）

10月24日（金）

内子町歴史観光交流拠点施設（旧森家住宅）
指定管理者を募集します



- 対象 法人その他の団体（個人は不可）
- 参加表明書締切 8月29日（金）

《施設等の概要》

- ・所在地 内子町内子 2009 番地
- ・業務内容 施設の運営、維持管理、利用促進に係る業務
- ・指定期間 令和8年4月1日～13年3月31日

※指定管理者は申請書等をもとに内子町指定管理者選定委員会で選定し、町議会の議決を経て決定します。詳しい応募方法などは内子町のホームページをご覧ください。

ID144266

【問い合わせ】 町並・地域振興課 歴史まちづくり係 ☎0893（44）2118

▽一般（後期）8月13日（火）

2月13日（金）

●試験日

▽推薦 10月1日（水）

▽一般（前期）11月26日（水）

▽一般（後期）8月27日（金）

●授業料 無料

※教材費、食費、宿泊費、光熱水費などは自己負担です。

詳しくは農研機構のホームページをご確認ください▼



【問い合わせ】

農研機構果樹茶業研究部門 養成研修課

☎029（838）6455

稼げる、格好いい、感動
を奏しめる農業者に

《総合農学科（定員55人）》

●受験資格 高等学校または中等教育学校の卒業（見込）者など

●願書受付期間

▽推薦入試 9月10日（水）

24日（水）

▽一般入試 12月8日（月）

22日（月）

●試験日

▽推薦入試 10月10日（金）

▽一般入試 8月1日22日（木）

《アグリビジネス科（定員5人）》

●受験資格 農業大学校、専門学校、大学の卒業（見込）者など

●願書受付期限 8月29日（金）

●試験日 10月15日（水）

詳しくはえひめ農業未来カレッジのホームページへ▼



【問い合わせ】

えひめ農業未来カレッジ

☎089（977）3261

心温まる思い出を作品に
「愛顔感動ものがたり」

県民の皆さんの感動体験を収めた作品を募集します。優秀作品には賞金を贈ります。

●募集部門 エピソード・写真・映像

●応募期限 9月19日（金）

※映像部門は事前エントリーが10月31日（金）、作品提出が11月30日（日）までです。

応募方法などの詳細はこちらからご確認ください▼



【問い合わせ】

愛媛県文化振興課

☎089（947）5480

お知らせ

自分にぴったりの企業と
会おう「お仕事フェスタ」

計50社の企業が参加する合同
就職面接会です。参加企業は決
定次第、ホームページに掲載し
ます。

●日時 8月7日(木)・8日
(金) 午後1時～5時

●場所 松山市総合コミュニティ
センター

●対象者 県内の企業へ就職を
希望する、次のいずれかの人
▽大学・短期大学・高等専門学
校・専修学校などの8年3月
卒業予定者、または5年3月
以降の既卒者

▽おおむね35歳未満の人
※保護者も見学可能です。

●参加費 無料

※予約不要で服装は自由です。

参加企業や詳細の確認はこ
ちらから▼



【問い合わせ】

(株)東京リーガルマインド松山支社

☎070(1746)5333

✉ehime-jakunen@lec.co.jp

不動産相続登記の疑問を
無料相談で解決

6年4月から相続登記の申請
が義務化されました。不動産を
取得した相続人は、取得を知っ
た日から3年以内に相続登記が
必要です。6年4月以前に相続
したものの対象で、違反者には
罰則もあります。また不動産の
名義を変更していないと、さまざ
まなトラブルの原因になります。

《相続に関するトラブル事例》

▽不動産を売却、または担保に
して融資を受けるのが難しい
▽連絡がつかない相続人がいる
ため遺産分割協議が進まない
《無料相談会を実施します》

愛媛県司法書士会では、8月
3日の「司法書士の日」に合わせ
て、相続に関する無料相談会を
実施します。次の期間、県内の
各司法書士事務所で開催しま
すので、気軽に「相談ください」。

●無料相談期間 8月1日(金)
～8日(金)

※事前に予約が必要です。

【問い合わせ】

○愛媛県司法書士会

☎089(941)8065

○相続登記相談センター受付

☎0120(13)7832

電気火災が増加中——
取り扱いの注意を再確認

近年、電気製品が原因の火災
が増えています。使用時は次の
ことに注意しましょう。

《電気火災を起こさないために》

▽コンセント周りやコードに焦
げ跡がないか確認する

▽コンセント周りを掃除する

▽プラグをしっかり差し込む

▽コードを束ねたり、家具の下
敷きにしたりしない

▽たこ足配線はしない



コンセント周りはきれいに

《充電電池を廃棄するときは》

モバイルバッテリーなどに使
われるリチウムイオン電池は、
衝撃によって発火する恐れがあ
り、可燃ごみとして捨てるの大
変危険です。透明な袋に入れて
から不燃ごみで出するか、家電量
販店の回収箱を利用しましょう。

【問い合わせ】

内子消防署

☎0893(43)0119

うちこ福祉館の行事案内

《やさしい人権講座》

●演題 「知ることから始めよ
うー部落問題の見直しー」

●講師 五藤孝人さん(歴史民
俗研究者)

●日時 8月25日(月)午後7時～
参加費 無料

《わいわい喫茶》

●日時 9月1日(月)午後1
時～4時30分

●参加費 無料

《健康講座(講話／調理実習)》

●内容 「骨粗しょう症につい
て」／「コッ骨クッキング」

●日時 9月9日(火)
午前9時30分～

●定員 15人

●参加費 300円

●持参品 マスク、エプロン、頭巾

【問い合わせ】

うちこ福祉館

☎0893(44)3410

全国一斉「こどもの人権
相談」強化週間

いじめや体罰、虐待など、子ど
もの人権に関するあらゆる相談
を電話で受け付けます。相談は

職員募集

大洲喜多特別養護老人ホーム事務組合

みどり苑・神南荘

●募集職種など

職種	採用数	応募資格
管理栄養士	1人	・昭和51年4月2日以降生まれ ・管理栄養士の資格を有する
看護職員	1人	・昭和61年4月2日以降生まれ ・看護師の免許を有する
介護職員A	若干名	・昭和51年4月2日以降生まれ ・介護福祉士の資格を有する
介護職員B	若干名	・平成3年4月2日～19年4月1日 生まれ ・採用後5年以内に介護福祉士の資 格を取得する意欲がある

※令和8年3月末までに資格取得予定の人を含む

●受験資格(全職種共通) 次のすべてを満たす人

▷普通自動車免許を有する、日本国籍の人

▷地方公務員法第16条各号のいずれにも該当しない

●1次試験

▷日時 9月28日(日) 午前9時～

▷場所 特別養護老人ホームみどり苑

▷内容 教養試験、作文

※2次試験は10月下旬に実施予定です。

●勤務条件など

▷勤務場所 特別養護老人ホームみどり苑

または特別養護老人ホーム神南荘

▷給与 最終学歴、職歴などを換算して決定

▷その他 土日祝日、年末年始の勤務あり

●応募方法 採用試験申込書、資格証明書
の写し(取得者のみ)を提出してください。

※採用試験申込書は各施設の事務所、また
はホームページから入手できます。

●申込期限 9月12日(金)

【応募・問い合わせ】

特別養護老人ホームみどり苑

☎0893(45)0141

🌐https://userweb.u-broad.jp/ozukita-midori/



無料で、予約も不要です。秘密
は厳守しますので、何か問題が
あればすぐにお電話ください。

●期間 8月27日(水)
～9月2日(火)

●時間 午前8時30分～午後7時
※土・日曜日は午前10時～午後
5時

○全国共通電話番号
☎0120(007)110

●相談担当 人権擁護委員、法
務局職員

【問い合わせ】
松山地方方法務局人権擁護課
☎089(932)0888

里親家庭と子どもを支援
エフスクからのお知らせ

えひめ里親サポートセンター
コイノニア(EFSK)は、愛媛
県の認可を受け、里親の支援活
動をする団体です。さまざまな
事情で家族と離れて暮らす子ど
もたちが温かい家庭環境で成長
できるよう、制度の普及や里親
家庭の支援に取り組んでいます。
《里親制度に関するパネル展》
里親制度の概要や、子どもた
ちを支える地域活動などを紹介
します。気軽ににお越しください。
●期間 8月1日(金)～29日(金)

●場所 町民会館

詳細はホームページをご確
認ください▼



【問い合わせ】

えひめ里親サポートセンターコ
イノニア

☎089(923)3108

eラーニングで
自宅でも職業訓練

インターネットで学ぶ在宅型
公共職業訓練です。簿記や労務
に関する知識を、パソコンやス
マホで好きな時間に学べます。

●期間 9月12日(金)
～12月11日(木)

●対象 ハローワークで職業訓
練の受講あっせんを受けた人

●定員 15人

●受講料 無料

※テキスト代1万円が別途必要

●申込先 ハローワーク大洲

●申込期間 8月4日(月)
～9月3日(水)

詳細はホームページをご確
認ください▼



【問い合わせ】

(株)東京リーガルマインド松山支社

☎089(961)1333

息切れやだるさは、心臓からのSOSかも—— 心不全の予防は生活習慣病の予防から

●心臓の健康に目を向けよう

最近、坂道や階段を少し上っただけで苦しくなったり、通勤などの普段通りの運動で疲れを感じたりしていませんか。その息切れやだるさは、心臓からのSOSかもしれません。

8月10日は「健康ハートの日」です。心臓の健康を守る大切さを全国で呼びかけています。毎日休みなく働く心臓を思いやり、自分や家族の健康と生活を見つめ直す時間を作りませんか。

●愛媛で特に多い「心不全」

心不全は、心臓のポンプの働きが低下して息切れやむくみが起こり、悪化すると命を縮める病気です。特に高齢者に多く、近年は高齢化などで心不全患者数が増加傾向にあります。さらに愛媛県では、心疾患で亡くなる人の割合が全国と比べて男女とも高く、対策が課題とされています。

●生活習慣病の予防が大切

心不全の原因は、狭心症や心筋梗塞などの心臓病だけでなく、糖尿病や高血圧などの生活習慣病も深く関わります。生活習慣病で動脈硬化を引き起こすと、心臓や血管に負担がかかるためです。予防のために、毎年健診を受けて健康状態を把握し、食事や運動などの生活習慣を見直しましょう。

心疾患にかかったことがある人や治療中の人は、定期的に受診して適切に服薬し、体調をコントロールすることが重要です。必要な食事や運動には個人差があるので、日常の注意点を医師に確認しておきましょう。



▲愛媛県の啓発ポスター

9月の相談日・救急当番医

●年金1日相談

日時：11(木)・25(木)の午前10時30分～午後3時30分
場所：内子自治センター ※相談は予約制です。
予約・問い合わせ：松山西年金事務所 ☎089(925)5110

●行政相談

日時：9(火)の午前9時30分～正午
場所：町民会館／内子分庁／小田自治センター
問い合わせ：総務課 ☎0893(44)6150

●心配ごと相談

日時：16(火)の午前9時30分～正午
場所：内子分庁
※心配ごと相談は予約制です。前日までに電話でお申し込みください。
問い合わせ：内子町社会福祉協議会 ☎0893(44)3820

●人権相談

日時：9(火)の午前9時30分～正午
場所：内子町林業センター
問い合わせ：住民課 ☎0893(44)6152

●小児在宅当番医

日	医院名	電話番号
7(日)	大洲ななほクリニック	0893(25)7710
14(日)	八幡浜一次救急休日・夜間診療所	0894(24)1199
15(月)	ごとう小児科(大洲市)	0893(23)0510
21(日)	みかんこどもクリニック(八幡浜市)	0894(20)8800
23(火)	おおくぼこどもクリニック(大洲市)	0893(57)9366
28(日)	おおむら小児科(内子町)	0893(44)7117

※けがなどの外科治療は、救急病院をご利用ください。

●大洲喜多休日夜間急患センター ☎0893(23)1156

診療科目	診療時間
内科	○昼間：午前9時～午後6時(日曜・祝日) ○夜間：午後7時～10時(平日・土・日曜日)

●救急病院

曜日	病院名	電話番号
月・火	市立大洲病院	0893(24)2151
水	日中：加戸病院	0893(44)5500
	夜間：喜多医師会病院	0893(25)0535
木	日中：大洲記念病院	0893(25)2022
	夜間：市立八幡浜総合病院	0894(22)3211
金・土	大洲中央病院	0893(24)4551
日	日中：大洲中央病院	0893(24)4551
	夜間：市立八幡浜総合病院	0894(22)3211

9月の健康カレンダー

●母子保健

育児相談

日	受付時間	場所	対象
1(月)	午前9時30分～10時30分	小田保健センター	乳幼児
3(水)	午前9時30分～11時	五十崎保健センター	
10(水)		内子保健センター	

1歳Comeかむ教室(むし歯予防教室)

日	受付時間	場所	対象
11(木)	午前9時30分～10時	内子保健センター	6年6月～8月生まれ

2歳Comeかむ教室(むし歯予防教室)

日	受付時間	場所	対象
17(水)	午前9時～9時30分	内子保健センター	5年6月・7月生まれ

乳児健康診査

日	受付時間	場所	対象
25(木)	午後1時～1時15分	内子保健センター	7年1月・2月生まれ

●成人保健

受診は予約した人に限ります。受診を希望する人で申し込みがまだの場合は、電話で予約してください。
○内子町健診コールセンター
☎0893(57)6370

特定健診、後期高齢者健診、健康診査、がん検診(肺がん・胃がん・大腸がん・前立腺がん・子宮頸がん・乳がん)、腹部超音波検診、肝炎ウイルス検査

日	受付時間	場所
7(日)	午前8時～11時30分	五十崎自治センター

※肺がんCT検診、骨粗しょう症検診はありません。

乳がん検診(マンモグラフィー)

日	受付時間	場所
2(火)	午前9時～11時30分 午後1時～3時30分	五十崎保健センター
8(月)		内子保健センター
9(火)		

【問い合わせ】

内子町保健センター
☎0893(44)6155

住人十色

第
187
回



◎7月26日に集まったメンバーで撮影。今年の展示はお盆過ぎまで続く予定だそう

傘のアートで祭りに華を添える 「アンブレラスカイ」今年もまちの駅に登場

内子笹まつり実行委員会の皆さん

カラフルな傘を吊るして青空を彩る「アンブレラスカイ」が7月中旬、まちの駅Nanzeに登場しました。8月開催の「内子笹まつり」に向けた同実行委員会の企画で、夏の名物スポットとなっています。

アンブレラスカイは企画部長の宇都宮啓之さんが3年前に提案。「年々、商店街に並ぶ笹飾りが減り、人手不足で準備は大変——。でも来てくれるお客さんのために、できることを始めたかった」と当時を振り返ります。傘が並ぶ華やかな広場には、「かわいい」と喜ぶ子ども連れなどが次々訪れます。宇都宮さんは「想像以上の反響にびっくり。皆さんの喜ぶ声がやがいだから、なかなかしまえない」と笑います。風や日差しの影響で、一日2、3本は手直しや取り換えが必要だそう。宇都宮さんは傘を整え「少しでも傷まないよう、去年からロープにより戻しをつけて。年々進化しています」と汗を拭きます。

現在、傘のアートに加え、祭り本番に向けた準備が進んでいます。実行委員長の水田陽一郎さんは「地域の皆さんも一緒に盛上げてくれる。それだけ魅力ある祭り。私たちの幼い頃のように、これからの子どもたちの楽しい思い出として残ってほしい」と語りました。

編集 幸記

▽地元で最近、お母さんたちが家庭料理を持ち寄ってお話を開いているそうです。人キリで取材した森岡さんは「郷土料理にはおばあちゃんの知恵が詰まっている」と話していました。文化継承のため参加してみようかな。食べる専門で(史)▽「ぼくの夢わたしの夢」取材は給食の後、昼休みの時間にすることが多いです。「今日の給食なんやった?」と聞くと、名前も知らないメニューばかり。ABCスープとか、キャロットパンとかまだあるんでしょうか……(花)

町内無線放送が聞き取れなかった場合はお電話ください。

通話料無料の
フリーダイヤル
☎0120(44)2130

